チームエッフェガーラ

市村真太郎 レースレポート

2010年11月28日

Festikapスプリントシリーズ第6戦

ヤマハSSオープンクラス（参加8台）

フェスティカサーキット

フレーム　:birel RY31
エンジン　:YAMAHA KT100SD
タイヤ　　:ブリヂストン SL07
エンジニア:加藤 真（レーシングサービス エッフェガーラ）
メカニック:

◆今大会にむけて目標、意気込み
今年もいよいよ最終戦、今までの経験をすべて出し切れるよう、万全の心とマシンの準備をして挑みます。　栃木とももうすぐお別れと思うとちょっと感傷的になります。

◆レース結果
ＴＴ　　６位(33.026)
予選　　４位(33.105)
決勝　　４位(33.125)

◆シリーズランキング
4位 (21.5ポイント)

◆レースレポート
公式練習:車の調子は絶好調！！加藤監督スペシャルのエンジンもとても良く伸び気持ちいい。アクセルを踏むたびにいろんな意味で感動が・・・

TT:公式練習の良いフィーリングのままタイムアタック。自分の走りをしっかりまとめることはできました。が、結果が6位。車の良さをまだまだ生かしれてない。うーんカートはほんと奥が深い。まだまだやめられないですなぁ。

予選:スタートはアウト側の6位苦しい位置。1～2コーナーはイン側でなんとかポジションキープ、ただし、2コーナーで中途半端に前に並び3コーナーで後ろに飛び込まれる展開。すぐに抜き返しますがタイムロスを背負いました。その後は前が2コーナーでスピンしたことにより4位が失速、3コーナーで後ろから飛び込まれますが、相手は立ち上がれない。2台抜きのチャンス。今行かなきゃいつ行く？エンジンも答えてくれて、5コーナーでオーバーテイク。その後は4位をキープして予選終了。甘いところも多々ありましたが、展開に助けられ、なんとかポジションアップできました。

決勝:またまた、くるしいアウト側のスタート。気合入れて集中して、スタート！自分のスタートはそこそこ、でしたが。3位の伸びが悪くスペースが・・・そこに飛び込み3位へ。最後の花道飾るためにも上を目指してきます。ホームストレートでみんなの応援する姿も見える。今までのすべてを込めて走ります。
しかし、前2台からは、徐々に離される展開、その後3位にも抜かれ4位に、さらには後方から追い上げてきた選手につつかれる展開に。最終コーナーでさされかけますが何とかキープしてゴール。終わった直後の感想は悔しいの一言。
みんなの応援に答えることができませんでした。
ほんとカートは一筋縄ではいきませんね。まぁそれだからやめられないのでしょうけど・・・

◆レースを終えて
結果は思い通りには出ませんでしたが、今の自分はしっかり出せたレースだったと思います。栃木でカートを始めて３年。悔しかったけど、やってて良かったなぁって思えました。皆さんの応援がとても力になったし、うれしかったです。
でも、本当の楽しみ、喜びをまだ感じられていないんですよね～。チャンピオンにならないとね～。ってことで、これからもがんばってきます！！

◎ありあまるもの
①加藤監督の気持ち
②みんなの応援
③自分の愛車の性能

◎今回の足りないもの
①自分の実力